1年生　講義一覧

仏典概説Ⅰ　（月曜日 1講時）　梶　原　隆　淨

授業のテーマ

主要経典の概説

授業の概要

大乗経典の成立と展開。

授業の目的・ねらい

僧侶として学んでおきたい主要な経典を取り上げ、その内容を概説し、また、経典の伝播を通じて、インド・中国・日本へと仏教思想が変遷していく様子を理解したい。

毎回の授業テーマ・内容

1．仏典とは
2．三蔵の成立
3．大乗仏教
4．経典の翻訳
5．般若経
6．華厳経
7．維摩経
8．法華経
9．密教経典
10．浄土経典
11．日本仏教

到達目標

主要経典を概観することを通じて、仏教に対する理解を深めていただきたい。

授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示

あらかじめTextの該当箇所を読んでおくこと

受講に当たっての留意事項

わからない事は、遠慮なく質問し、意欲的にとりくむこと。

成績評価の基準

定期試験（教室）　70%
授業内発表　　20%
その他　　10%（受講態度 10%）

テキストについて

『仏教経典散策』　中村元　編著　（角川ソフィア）　1,100円《価格は参考》　ISBN：9784044003234

参考文献について

『大乗経典解説事典』　勝崎裕彦･小峰弥彦･下田正弘･渡辺章悟　編著　（北辰堂）　8,800円《価格は参考》　ISBN：9784892872112

『仏典解題事典（第三版）』（春秋社）　8,250円《価格は参考》　ISBN：9784393101735

伝道学Ⅰ　（月曜日 3講時）　北　村　隆　彦

授業のテーマ

伝道の基本

授業の概要

仏教・浄土宗の教義理解の促進、伝道実践指導

授業の目的・ねらい

浄土宗教師（伝道者）を目指す者として､自信教人信の自信に重きを置き､伝道の基本を身につける。

毎回の授業テーマ・内容

1. 浄土宗教師とは
2. 自信教人信とは
3. 仏教の教え
4. 聖道門と浄土門

5. 浄土宗の教え
6. 発表（私にとっての阿弥陀様）
7. 発表（感動を人に伝える）

到達目標

聴衆を前にして浄土宗教義について伝えることができるようになる。

授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示

発表のための準備、原稿作成。

受講に当たっての留意事項

出席状況、受講態度を重視する

成績評価の基準

定期試験（教室）　60%
授業内発表　　10%
その他　　30%（授業出席 10%　授業態度 20%）

テキストについて

『伝道』　恵谷隆戒　（浄土宗）　275円《価格は参考》
『法然上人のお言葉』　総本山知恩院布教師会刊

仏教音楽　（月曜日 5講時）　小　川　隆　昭

授業のテーマ

仏教聖歌を学ぶ

授業の概要

浄土宗や浄土真宗が近代に整えた宗教音楽であり明治、昭和、平成にかけて、仏教をより広く伝えるために作曲された歌が中心。そして阿弥陀仏への信頼、極楽往生への願い、日常の心構えなどをテーマにしている。声明のような専門的な節ではなく、一般の人でも歌える旋律が多いのが特徴でメロディがわかりやすく歌いやすい。このような聖歌を将来の僧侶として学んでいく。

授業の目的・ねらい

東西を問わず､すべての音楽の源流は宗教にあります。日本では仏教の声明が日本音楽に影響を与え、様々な変化をとげながら現在も伝えられています。また明治以降､西洋音楽が日本の音楽に影響を与え、明治以降、教育現場にも仏教音楽が取り入れられました。現在は、さまざまな教育現場で宗教音楽を学ぶ機会が増えています。本授業では、日本の仏教音楽と西洋音楽を宗教儀式との関連や、現代社会が求める仏教音楽について学ぶことを目指します。

毎回の授業テーマ・内容

仏教音楽
宗教曲
声明
音楽法要連頌
新しい音楽法要

到達目標

聖歌が歌えるようになること

授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示

音程、リズム等必ず復習すること

成績評価の基準

定期試験（教室）　80%
定期試験（課題）　歌唱テスト
授業内発表　　20%

テキストについて

テキストを購入
『仏教聖歌』　佛教大学編
『浄土宗の「新しい音楽法要」』　小川隆宏

寺院情報処理 （火曜日 1講時） 法 澤 賢 祐

授業のテーマ

「パソコンの操作活用」と「自行化他の実践精神」を学習する

授業の概要

パソコン（Windows環境）の操作・活用方法を習得しながら、寺務と教化活動、情報の収集と発信について学習する。前提として、制作実習の材料となる仏事・法要の実施意義や目的への正確な認識は不可欠なため、第一義とする自行・日常勤行と併せてそれらの実践精神・意義・目的・展望について提示する。また、情報を扱う際の留意事項、個人情報・人格権（肖像権）・著作権にも触れる。

授業の目的・ねらい

浄土宗教師としての活動志向を得るために、制作実習を通して自己のあり方を探る。寺務・教化活動のために、パソコンの基本操作を身に付ける。寺院行事の紹介や案内、その実践精神に基づく伝道や教化活動のために、柔軟なイメージを描いて様々な形にする手法を身に付ける。

毎回の授業テーマ・内容

1学期
- ・ハードウェアとソフトウェア、アプリケーションソフトウェア
- ・パソコンとスマホ、パソコンの仕組みと基本操作【ワード】
- ・寺報の制作【パブリッシャー】

2学期
- ・僧侶における勤行・儀式・仏事・寺院行事の実践精神と意義・目的
- ・ホームページの制作【テキスト、ブラウザー】

3学期
- ・浄土宗寺院の年間行事・定例法要・寺務
- ・ポスターの制作【ワード】

通年（断続的）
- ・情報の収集と発信、情報の取り扱い（著作権・肖像権・個人情報・承諾書ほか）
- ・表現方法・体裁・デザイン、ワードの活用（履歴書・次第）、ウェブメールの活用
- ・エクセルの活用（表計算・行事予定表・間取り図）

到達目標

①勤行・儀式・行事の実践精神を自分の言葉で適切に表現できる。
②情報収集と教化活動の道具としてパソコンの基本操作ができる。
③伝達・教化の手段として制作物の体裁・デザインを制作できる。

授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示

寺院行事の内容と目的について、実施する立場で正しく認識すること。伝えるべきことや言いたいことを的確、端的、効果的に提示できる言語表現や伝達方法を模索し続けること。また、周囲にある各種行事・イベント等のチラシ・ポスター・広告類の体裁や構成内容に目を向け、自分が活用するための参考材料として取り込んでおくこと。一方で、授業中に指摘する不足内容や修正箇所について、追加学習や修正作業を求める。

受講に当たっての留意事項

機器の操作が苦手な人にこそ意義あるものとなるよう展開する。授業中に指示する学習方針・制作方針に則り、独りよがりや、単に制作のみを目的とする事態に陥ってはならない。学習方針と無関係な操作が目立つ場合には、機器の使用禁止や授業時間外の作業を課す。自己の教化を第一に、その延長にある檀信徒・地域・社会との関係を考えるための学習であり、僧侶・寺院による発信としての制作実習であること。単に個人的なものに終始せず、明確な意義・目的を備えた上で、将来的な寺院活動への構想を持って学習に臨むこと。データの保存用にUSBメモリー（空き容量2G程度／5月の連休明け）が必要。

成績評価の基準

授業内試験	40%	操作方法・伝達方法・留意事項の理解度を判定する筆記課題 ＊意見交換にてフィードバックする
授業内課題	60%	学習方針・制作方針・基本事項の反映度を判定する制作物 ＊意見交換にてフィードバックする

テキストについて

適宜、資料を配付する。

浄土学概論Ⅰ （火曜日 5講時） 加 藤 弘 孝

授業のテーマ

浄土宗の教えのあらまし

授業の概要

仏教の基本的な世界観・死生観から、大乗仏教思想としてのインド・中国の浄土教、そして日本独自の展開を遂げた法然浄土教について、基本的内容を概説する。

授業の目的・ねらい

浄土宗の教えの基本的内容について理解し、説明できるようになる。

毎回の授業テーマ・内容

（1）授業についての説明
（2）仏教の世界観・人生観（諸行無常・一切皆苦・諸法無我）
（3）煩悩、業、輪廻（仏教の悲観的な世界観・人生観は何の役に立つか）
（4）仏教の宇宙観と浄土（極楽浄土だけが浄土ではない）
（5）浄土宗の根本聖典（浄土三部経と『往生論』）
（6）極楽浄土とはどんなところか（阿弥陀仏とその四十八願、依報・正報）
（7）浄土宗の仏教観（浄土門と聖道門：ブッダの教えをどう分類・価値づけするか）
（8）末法思想・時機相応の教え
（9）極楽往生のための修行（浄土三部経の説）
(10) 極楽往生のための修行（世親の五念門）
(11) 善導の正行・雑行、正定業と助業、念仏と諸行
(12) 四修（恭敬修・無余修・無間修・長時修）
(13) 念仏とは何か：その１、仏とは何か
(14) 指方立相（西という方角を指し示し、具体的な姿を設ける）
(15) 念仏とは何か：その２、念仏とは何か
(16) 念仏往生の本願（第十八願） 念声是一論、「乃至十念」
(17) 法然の専修念仏思想・念仏と諸行
(18) 法然教団への弾圧
(19) 往生のための心構え：三心、至誠心（真実の心）
(20) 深心（深く信じる心）
(21) 廻向発願心（すべての善根功徳を極楽に回し向け、往生を願う心）
(22) 法然上人の三心解釈
(23) 念仏相続（念仏を続ける必要性）
(24) まとめ

到達目標

浄土宗の教えの基本的内容について理解し、説明できるようになる。

授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示

毎回の復習として、配布資料を読み直し、授業内容をノートにまとめておく。
また、関心を持った点やよく分からなかった点については、自身で調べるようにする。

成績評価の基準

定期試験（課題）	80%	レポートを提出してもらうことで、浄土宗の教えの基本的内容についての理解度をはかり、評価します。
授業内試験	20%	小テストを行うことで、浄土宗の教えの基本的事柄の理解度をはかり、評価します。

テキストについて

授業内で資料を配布します。

参考文献について

授業内で指示します。

選択集Ⅰ （水曜日 1講時） 田中 実 マルコス

授業のテーマ

『選択集』を読んで法然上人の浄土教を知る。

授業の概要

法然上人の主著『選択本願念仏集』の講読。第一章から第六章まで講読する。

授業の目的・ねらい

法然上人が説いた選択本願念仏の思想を理解する。

毎回の授業テーマ・内容

（一学期）

・『選択集』撰述の経緯
・『選択集』の諸本
・全体構成と内容
・第一章　聖浄二門篇
・第二章　捨雑行帰正行篇

（二学期）

・第三章　念仏往生本願篇
・第四章　三輩念仏往生篇
・第五章　念仏利益篇

（三学期）

・第六章　末法万年特留念仏篇
・第一章～第六章のまとめ

到達目標

善導・法然の浄土教を理解できる。
仏教用語を身に付ける。

授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示

・『選択集』をあらかじめ読んでおくこと。
・各章に引用される「浄土三部経」の経文を確認すること。
・授業中に各自に質問するので答えられるように予習すること。

受講にあたっての留意事項

・『選択集』を解読して、内容を理解するように努力すること。
・浄土三部経、仏教語辞典、漢和辞典等を準備して授業に臨むこと。
・自分のノートをまとめること。

成績評価の基準

定期試験（教室）	50%	
授業内発表	30%	
その他	20%	受講態度

テキストについて

『選択本願念仏集』（浄土宗） 1,100円《価格は参考》

参考文献について

『選択集講座』 藤堂恭俊 （浄土宗） 1,980円《価格は参考》 ISBN：4883633314
『選択集全講』 石井教道 （平楽寺書店） 8,580円《価格は参考》
『選択本願念仏集』 石上善應 （ちくま学芸文庫） 1,650円《価格は参考》

浄土教史概説Ⅰ （水曜日 2講時） 齊 藤 舜 健

授業のテーマ

インドの浄土教から法然上人の直前までの浄土教の流れを概観する。

授業の概要

浄土教の流れについて､インド･中国および我が国の法然上人以前の浄土教の教理を中心に概説する。
特に重要な点については原典を読みつつ理解を深めて行きたい（資料は随時、配布する）。

授業の目的・ねらい

浄土宗の教えを理解するための基本的な概念や考え方を身につけ、それらがどのような経過を経てな

りたってきたのかを理解する。

毎回の授業テーマ・内容

一年間の授業は概ね次の流れで行う。

1学期：インドの浄土教
2学期：中国の浄土教
3学期：我が国の浄土教

到達目標

浄土宗の教えの基本的な概念や考え方と、その成り立ちが理解できること。

授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示

授業中に既習の事項について確認を求めるので、前回の授業内容を確認しておくこと。

成績評価の基準

定期試験（教室） 50%
その他 50% 授業中の質疑への対応を考慮する。

テキストについて

『浄土教史概説』 坪井俊映 （佛教大学通信教育部） 1,781円《価格は参考》

茶道 （水曜日 3・4講時） 大 塚 真 教

授業のテーマ

「道・学・実」の三要素について、日本文化への造詣を深める。

授業の概要

日本の伝統文化のなかの一つである、茶道を講義・実践を通じて進めて「道・学・実」を学ぶ。
殊に、懐紙の使い方・茶道具の扱い・掛軸の取り扱い等を重視。

授業の目的・ねらい

日本の伝統文化のなか、茶道を実践し、その心を伝える。（裏千家 茶道の初歩）
室町時代に生まれた茶の湯は、禅の思想と深い関係を持っているだけでなく、美術工芸、書、数寄屋建築などとも関わり、日本文化の総合とも云われている。
茶道は礼で始まり、礼で終わる。講義では実践を中心とした、割り稽古、盆略点前を進めていき、その中で礼儀作法・お道具の扱い方を学んでいただく。
日常での、お菓子を頂く、お茶を頂く事を始め、お菓子、お茶をお客様に出す時についても講義の中で実践していただきます。
僧侶として最低限度の作法（懐紙の扱い・茶碗の扱い）・道具の取り扱い（掛軸・四方掛け等）をも身につけて頂きたく受講を望む。

毎回の授業テーマ・内容

（一学期）
・襖の開け方、閉め方
・菓子器、茶碗の置きかた
・お道具の扱い
・割り稽古
・盆略点前
（二学期）
・盆略点前
・風炉点前
・炉点前
・掛軸、四方掛け
・四季の茶道について
（三学期）
・炉点前

到達目標

日本の伝統仏教文化の「道・学・美」の三要素の造形を理解できること。
作法通りに、お菓子をいただく、茶をいただく事ができ、その事を五感で楽しめるようになるように到達をする。
更には、作法にてお茶を点てられる。

僧侶として、道具、掛軸、片木の扱いができるように到達をする。

授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示

講義について

サブ教材（テキスト）に講義で伝えた事の加筆をして自分だけのテキスト作りをする。

作法について

反復をして覚えるように努める。

学ぶことについて

季節の移り変わりの風景や、地域の行事ごとに関心を持って講義に取り組む。

受講にあたっての留意事項

同じ作法をするが、確りと作法を確実に覚えるように努めること。

成績評価の基準

定期試験（教室） 70%　各学期毎に筆記試験、実技試験、レポート試験のどれかの試験を実施する。
その他　30%　積極的に講義に関することを調べ､発言をした者に対し学期毎に加点をする。

テキストについて

サブ教材　テキストについては、最初の講義時に配布をする。
『裏千家　茶道』（今日庵） 990円《価格は参考》

参考文献について

講義の時に、随時紹介をする。

宗教概説 （水曜日 5講時） 西 本 明 央

授業のテーマ

宗教とはなにか

授業の概要

前期で「宗教学」という学問について概説し、後期で「罪」というテーマに絞って諸宗教の考えを概観する。

授業の目的・ねらい

近代以降の宗教の見方について知る。

毎回の授業テーマ・内容

私達の時代における宗教の限界と可能性について考える。

到達目標

諸宗教に見られる共通の構造・普遍的な思想を理解する。

授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示

復習して疑問点を明らかにしておく。

受講にあたっての留意事項

積極的な態度で授業に臨むこと。

成績評価の基準

定期試験（課題） 60%　授業内容からまとめること。
授業内発表　10%　授業内容を要約し、理解したことについて発表すること。
授業内試験　30%　アンケート課題の提出。

テキストについて

毎回、レジュメ・資料を配布するかGoogleクラスルームにアップします。

詠唱Ⅰ （木曜日 1・2講時） 兼 岩 和 広

授業のテーマ

吉水流詠唱の習得（理解と実践）

授業の概要

吉水流詠唱のお唱えを中心とした実践がメイン。前期前半は詠唱の基礎を学びながら、特に威儀作法の習得をめざす。そこから徐々に練習曲のレパートリーを増やし、和讃、詠歌をお唱えしながら、それぞれの歌詞を通して、佛教のこと、浄土宗のこと、法然上人のことをも学び、理解していく。

授業の目的・ねらい
吉水流詠唱について理解し、多くの曲を習得することで、将来的に僧侶としての教化活動の一助として指導者的立場で実践できることを目指す。
毎回の授業テーマ・内容
第１回　詠唱の基礎　詠唱とは
第２回　詠唱の基礎　詠唱とは
第３回　詠唱の基礎　詠唱とは
第４回　詠唱の実践　お唱えと威儀作法の習得
第５回　詠唱の実践　お唱えと威儀作法の習得
第６回　詠唱の実践　お唱えと威儀作法の習得
第７回　詠唱の実践と理解　内容的理解を深める
第８回　詠唱の実践と理解　内容的理解を深める
第９回　詠唱の実践と理解　お唱えの実践
第10回　詠唱の実践と理解　お唱えの実践
第11回　詠唱の実践と理解　お唱えの実践
第12回　詠唱の実践と理解　お唱えの実践（試験）
第13回　詠唱の実践と理解　お唱えの実践（試験）
到達目標
基礎的な威儀作法を習得して、徐々に鈴鉦を用いてのお唱えを実践し、基本曲について一人でお唱えが出来る事を目指す。
授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示
習った曲の内容について、書物等で理解を深めること。鈴鉦の扱いについては経験が必要なため、適宜練習しておくこと。
成績評価の基準
定期試験（教室）　50％
授業内発表　　50％
テキストについて
『吉水流詠歌集（音符用）』　浄土宗吉水講　（浄土宗吉水講）
『吉水流和讃集（音符用）』　浄土宗吉水講　（浄土宗吉水講）
『吉水流詠唱新曲合本』　浄土宗吉水講　（浄土宗吉水講）

三経概説Ⅰ　（木曜日 ３講時）　　小　川　法　道

授業のテーマ
『無量寿経』の講読
授業の概要
『無量寿経』の講読を通して、浄土教の基礎を学ぶ。
授業の目的・ねらい
浄土三部経の一つである『無量寿経』の内容理解に努める。
毎回の授業テーマ・内容
『無量寿経』を読み進めていく。『無量寿経』に基づいて、浄土教の思想や世界観を理解し、『無量寿経』の構造を知る。特に重要となる歎仏頌・法蔵説話・四十八願（第十八願）と願成就文・四誓偈・三輩（上輩・中輩・下輩）段・讃重偈（聞名得益偈）などを概説した上で、善導大師・法然上人による『無量寿経』の理解を学ぶ。
到達目標
『無量寿経』の概要を説明できる。
授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示
テキストを一読しておく。
受講に当たっての留意事項
書き下しを発表してもらいます。
成績評価の基準
定期試験（教室）　60％
授業内発表　　30％

その他　　10%　受講態度

テキストについて

コピーを配布する。書籍も準備すること。

＊『【現代語訳】浄土三部経』は各寺院に配布されているので、それを持ってくること。ない場合は購入すること。

『浄土三部経（上）』（ISBN：978-4-00-333061-6）　中村元・早島鏡正・紀野一義訳註　（岩波書店）　1,210円《価格は参考》

『【現代語訳】浄土三部経』　浄土宗総合研究所　（浄土宗）　1,540円《価格は参考》

参考文献について

『浄土宗聖典　第一巻』　浄土宗聖典刊行委員会　（浄土宗）　7,200円《価格は参考》

『浄土三部経概説　新訂版』　坪井俊映　（法藏館）　15,730円《価格は参考》

仏教学概論Ⅰ　（木曜日 4講時）　吹田隆徳

授業のテーマ

釈尊の生涯と思想

授業の概要

釈尊の生涯を追い、その思想を概観する

授業の目的・ねらい

今から2500年ほど前、王家の跡継ぎとして生まれた釈尊（ゴータマ・ブッダ）は、どのような生涯をおくり、その生涯の中でいかなる思想を見出したのか。本講義では、インドを越えて様々な国で受け入れられ、時代の経過と共に大きく変化していった仏教の出発点を学ぶ。釈尊の神格化されない人間としての生き方を探り、自らの人生に活かすことのできる知見の獲得をねらいとする。

毎回の授業テーマ・内容

・下天
・入胎
・出胎
・出家
・降魔
・成道
・転法輪
・入滅
・縁起
・中道
・八正道
・四諦

到達目標

釈尊の生涯と思想について人に説明できるようになる

授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示

・前もって教科書に目を通しておくように
・毎回の授業内容を自分の言葉でまとめておくことを勧める

受講に当たっての留意事項

授業内容にかんする質問など、授業への積極的な参加を求める

成績評価の基準

定期試験（教室）　100%　レポート　指定された課題についての説明を求める　資料持ち込み可

テキストについて

指定されたテキストの他、必要となる資料は授業内で配布する

『新訂 仏教学概論』（浄土宗出版）　1,100円《価格は参考》

宗祖伝 （金曜日 1講時） 坪 井 剛

授業のテーマ

法然上人の生涯について学ぶ

授業の概要

長承2年（1133）に美作国で生まれた法然上人は、建暦2年（1212）に亡くなるまで、自身の修学を究めるとともに、様々な僧俗と交流した。その間には、承安5年（1175）の専修念仏への帰入や文治2年（1186）頃の大原問答など、いくつかの重要な出来事があり、建永2年（1207）には流罪にも遭っている。これらはいったいどういう出来事で、上人にとってどのような意味があったのか、この点を『法然上人行状絵図』を読み解くことから解説していていく。

授業の目的・ねらい

・法然上人の生涯にどのような出来事があったのか、把握する。
・当時の社会において、上人の存在がどういったものであったのかを考察する。

毎回の授業テーマ・内容

・生誕
・父漆間時国の死
・菩提寺での修学と延暦寺での出家
・皇円のもとでの修学
・黒谷への遁世と諸方遊学
・専修念仏への帰入
・西山広谷から吉水へ
・大原問答
・東大寺講説
・選択集執筆
・建永の法難による流罪
・帰洛と「一枚起請文」の撰述

到達目標

・法然上人の生涯における様々な出来事、上人の事績を説明できるようになる。
・上人の生きた当時の社会がどのようなものであったのか、理解できるようになる。

授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示

事前学習：配布する授業資料を授業までにしっかり読んでおくこと。
事後学習：授業で説明した内容をもう一度確認しておくこと。

成績評価の基準

定期試験（教室）	50%	授業内容に沿った筆記試験を行い、到達度を評価する。
授業内課題	50%	毎回の授業内容を十分理解出来ているか、授業内での課題等から総合的に評価する。

参考文献について

『法然（人物叢書　新装版）』 田村円澄 （吉川弘文館） 2,200円《価格は参考》 ISBN：9784642051200
『法然（講談社学術文庫）』 大橋俊雄 （講談社） 1,265円《価格は参考》 ISBN：4061593269
『法然の世紀　源平争乱の世に万民救済を説く』 伊藤唯真　990円《価格は参考》 （浄土宗出版） ISBN：4883637301
『鎌倉浄土教の先駆者　法然』 中井真孝 （吉川弘文館） 1,870円《価格は参考》 ISBN：9784642058940
『法然の生涯』 原作　ひろさちや （鈴木出版） 1,281円《価格は参考》 ISBN：9784790219255

仏教史概説Ⅰ （金曜日 2講時） 吹 田 隆 道

授業のテーマ

インド仏教史

授業の概要

釈迦牟尼の生涯と思想から大乗仏教思想までのインド仏教史をたどる。

授業の目的・ねらい

インド仏教の歴史を確認することで、法然浄土教につながる思想のながれを知る。

毎回の授業テーマ・内容

第１回：仏教学とは？　仏教文献学の世界
第２回：ブッダは歴史的人物か否か？　近代仏教学での論争と資料論
第３回：ブッダの生存年代　南伝説と北伝説
第４回：仏教誕生の歴史的背景①　ヴェーダの宗教からウパニシャッドの哲学まで
第５回：仏教誕生の歴史的背景②　自由思想家たちの思想
第６回：仏伝におけるブッダ①「誕生」 誕生伝説の謎
第７回：仏伝におけるブッダ②「少年期・宗家」 自己存在の悲しみ
第８回：仏伝におけるブッダ③「成道」①　対機説法とオープン・キャノン
第９回：仏伝におけるブッダ④「成道」②　無我・無常・苦　初期仏教の基本教理①
第10回：仏伝におけるブッダ⑤「成道」③　梵天勧請と慈悲　初期仏教の基本教理②
第11回：仏伝におけるブッダ⑥「初めての説法」①　中道・八正道　初期仏教の基本教理③
第12回：仏伝におけるブッダ⑦「初めての説法」②　四諦説I　初期仏教の基本教理④
第13回：仏伝におけるブッダ⑧「初めての説法」③　四諦説II　初期仏教の基本教理⑤
第14回：仏伝におけるブッダ⑨「ブッダの弟子たち」
第15回：仏伝におけるブッダ⑩「ブッダの死」 ブッダが描いた社会
第16回：シャーキャムニの滅後　三蔵の成立
第17回：仏教の思想①　縁起説Ⅰ
第18回：仏教の思想②　縁起説Ⅱ
第19回：仏教の思想③　三科（五蘊・十二処・十八界）
第20回：仏教の思想④　迷いの世界（煩悩・輪廻・業）
第21回：仏教の思想⑤　三学・三十七菩提分法
第22回：部派仏教の思想①　部派仏教とは
第23回：部派仏教の思想②　アビダルマと説一切有部
第24回：部派仏教の思想③　五位七十五法と三世実有
第25回：三明と一切知者
第26回：大乗仏教の思想①　菩薩の思想
第27回：大乗仏教の思想②　大乗菩薩の実践体系（六波羅蜜）
第28回：大乗仏教の思想③　中観思想（空と縁起、世俗の真理とブッダの真理）
第29回：大乗仏教の思想④　唯識思想（唯識、三性説、阿頼耶識）
第30回：大乗仏教の思想⑤　浄土思想（阿弥陀仏と極楽）

到達目標

インド仏教の歴史を学ぶことによって、僧侶が知るべき仏教の基本を得る。

授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示

指定されたテキストと参考文献を予め読み、授業の際にとったノートで復習すること。

受講に当たっての留意事項

しっかりと授業を聞き、ノートをとること。

成績評価の基準

定期試験（教室）　70％
その他　　30％　授業での態度と理解力

テキストについて

『新訂　仏教学概論』　浄土宗　（浄土宗出版）　1,100円《価格は参考》
『ブッダとは誰か』　吹田隆道　（春秋社）　2,090円《価格は参考》

実践仏教学１　（金曜日 ３講時）　粟飯原　岳　志

授業のテーマ

法式の基礎

授業の概要

基礎的な法式全般について解説する。

授業の目的・ねらい

伝宗伝戒道場に向けて、基礎的な法式の理解習得を目指す。

毎回の授業テーマ・内容

開法作法・衣帯の着脱
食作法
日常勤行式
半斎供養式
恭敬礼拝
威儀法
法服法
執持法
犍稚法
日常勤行式の節付
六時礼讃
伝宗伝戒道場（加行道場）の差定について

適宜、学外研修を実施する（実費負担）。

到達目標

基礎的な法式を理解習得し、作法が実践できるようになる。

授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示

授業で学修した内容については繰り返し復習すること。

成績評価の基準

定期試験（教室）　60％
授業内発表　20％
その他　20％　受講態度

テキストについて

『浄土宗勤行法』（佛教大学）　2,500円《価格は参考》
『浄土宗法要集』上・下　浄土宗総合研究所編　（浄土宗出版）　各3,300円《価格は参考》
ISBN：978-4-88363-163-6・ISBN：978-4-88363-164-3
『浄土三部経』　浄土宗聖典刊行委員会　（浄土宗出版）　5,500円《価格は参考》　ISBN：978-88363-106-3
『浄土宗法要集　音声部』折本　浄土宗総合研究所編　（浄土宗出版）　5,500円《価格は参考》
ISBN：978-4-88363-116-2
『折本 浄土宗日常勤行式（阿弥陀経・真身観文・般若心経付）』　浄土宗総合研究所監修　浄土宗出版編　（浄土宗出版）　693円《価格は参考》

実践仏教学２　（金曜日 ４講時）　粟飯原　岳　志

授業のテーマ

法式の基礎

授業の概要

実践仏教学１で解説した内容を実習する。

授業の目的・ねらい

伝宗伝戒道場に向け必須の基礎的な法式について、実習を通じて身に付けることを目指す。

毎回の授業テーマ・内容

日常勤行をはじめ、威儀法・法服法・執持法・犍稚法・音声等を繰り返し実習する。
適宜、学外研修を実施する（実費負担）。

到達目標

威儀法・法服法・執持法・犍稚法について、適正に作法を実践できる。
開法作法・食作法・日常勤行（節付き、礼拝、六時礼讃等含む）・半斎供養式等を適正に勤めることができる。

授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示

繰り返し復習すること。

成績評価の基準

定期試験（教室）　60％
授業内発表　20％
その他　20％　受講態度

テキストについて
　実践仏教学１に同じ

実践仏教学３　（金曜日 ５講時）　栗飯原　岳　志

授業のテーマ
　経典音読法
授業の概要
　浄土三部経の音読実習
授業の目的・ねらい
　『無量寿経』『観無量寿経』『阿弥陀経』の読誦を繰り返し実習する。適切に読誦できることを目指す。
毎回の授業テーマ・内容
　浄土三部経『無量寿経』『観無量寿経』『阿弥陀経』の読誦法の解説と音読実習を行う。
　少しずつ読み進めることとする。
　『阿弥陀経』及び小経（四誓偈・真身観文等）については切割笏の打法と読誦についても練習する。
到達目標
　浄土三部経『無量寿経』『観無量寿経』『阿弥陀経』を適切に読誦できること。
　切割笏を用いて『阿弥陀経』及び小経（四誓偈・真身観文等）の読誦ができること。
授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示
　繰り返し練習すること。
成績評価の基準
　定期試験（教室）　60％
　授業内試験　　20％
　その他　　20％　　受講態度
テキストについて
　『浄土三部経』 浄土宗聖典刊行委員会 （浄土宗出版） 5,500円《価格は参考》 ISBN：978-88363-106-33

法務実習Ⅰ　（土曜日 １～５講時）　長谷川　善　政

授業のテーマ
　掃除に学ぶ
授業の概要
　作務（掃除）・法務の実習。
授業の目的・ねらい
　本学寮の《生活態度》に掲げる「一掃除、二勤行、三学問」の掃除と定期法要における法務の実習。
毎回の授業テーマ・内容
　「掃除に学ぶ」をテーマに、なぜ今掃除なのか。その意義を考え、実践したい。また、大本山清浄華院において、定期法要（特に御忌会、彼岸会、骨佛法要など）に参加し、法式・念仏、伴僧や諸堂での法務や作務を体験実習する。
授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示
　指示待ちでなく、何をすべきかを、考えて行動出来るように、心懸けてほしい。
成績評価の基準
　その他　　100％　　実習の姿勢や態度、出席状況を重視する。

※ テキスト･参考文献の価格は変更となる場合があります。